

フブ・服部の中国通信

緊急情報！！「M-13」お任せください！！

メルマガ臨時増刊号です！！

なぜ臨時号を書こうかという話になったかと申しますと、インドM-13（ベルガムグレー）がかつてなく品薄になってきております。



この石ですね。インド材の中でも最高クラスの硬度を誇り、**大きなお墓を建てる**ととても映える**人気、実績ともに「横綱級」**の石種です。

これが今中国の原石商社にも全く石が無いというのです。

これを「**仕入担当者として、是非お客様にお知らせせねば**」と、**珍しく殊勝なことを考えたためです。**

が、ご安心ください！

弊社は3000才を超える在庫を確保しております。

と、言ってしまうと話が終わってしまいますので少し仕入の裏話を・・・

異変に気付いたのは2か月半前、インド担当サトーより「M-13の原石オーダーが10月以降になりそう・・・」との悲鳴を聞いた時です。

お恥ずかしい話、「**M-13**」というと「**いつでもある石**」の**代表格**、また中国産の石も無くなる、無くなる、と言いながらなかなか本当には無くならない（これも本当にゴメンナサイ・・・）、さらに言えばM-13は九州をはじめ西日本ではメイン石種の一つ、中国も最後の最後は何とかするだろう、大丈夫だろうと思っていました。

ところが同時期「インドから原石が入らないなら、割高でもつなぎで中国から原石を分けてもらおうか」という話になった際、ある中国の取引先さんからこんな**アドバイス**をもらいました。

「もし買うなら早くした方がいいよ、いまM-13はかなり品薄になってきていて、流通価格も**ジェットコースター並**、一昨年安かった時の1.5倍ぐらいになっているみたい。それでもまだ奪い合いで、まだ値段上がるよ。この事を工場の社長が知ったら・・・私がその工場の社長なら君には売らないかもね。（笑）だって、よそに流した方が製品売るより儲かるから。だから早く正式注文を出して縛ったほうが良いよ」

この恐ろしいアドバイス（脅し？）、普段ならまたまた一、と流すところですが実際に起こってしまいました。

いざ、オーダーをお願いしようと原石の在庫を確認したら
原石が土場から忽然と姿を消すという恐ろしい目に遭いました・・・ 汗。

そして現在、**原石価格は一昨年安かった時の2倍に手が届く勢い、製品は**
お金を払っても手に入らないという恐ろしい状況に陥っております。他の
商社さんから「M-13在庫切れのお知らせ」を受けた方もいらっしゃるの
ではないでしょうか。

しかし、**安心してください！溜めてますよ！！**
弊社は3000才を超える在庫を抱えております。

安心してください！溜めてます！

(大事なことですので二度お伝えさせていただきました)

工場も「得体のしれない工場から探してきました」と、言う
のではなく弊社の信頼するメイン工場**です。**

この工場は原石市場のことも熟知しているので、「M-13の原石を売ってくれ」と希望
価格を伝えた時は一笑に付されましたが・・・

製品は良いものを作る工場です。 ぜひお任せください。

それでは、中国へのM-13の原石再入荷はいつになるので
しょうか。

インドからの情報です。



インド担当：サトー からの座標情報をもとに**最新兵器「グーグルアース」**から拾い出した丁場の衛星写真です。いま人は立ち入れないのでこれでご勘弁を・・・

現在、産地のベルガム地方は雨季の真っただ中、丁場は水深20mというところでしょうか。

この雨季が 8月末まで続くそうです。ここから水を抜いて石を掘って・・・

中国の工場に出回るのは最短でも11月？ もっと遅いかもかもしれません。

というのも、現在売り手の丁場と買い手の中国側で少々契約がこじれているようです。**以下、サトーから解説を受けた内容です。**

- ① **3～4年前に中国のある大手原石商社がM-13のアモイ向けを独占契約**
- ② **その商社が(契約/ルマを果たすためでしょう)大量に石を輸入、1～2年**

前に中国で石があふれ出した。

- ③ 業界の不振も相まって供給が需要を大きく上回り値崩れがおき始めた。
- ④ 昨年の雨季前3～4月ごろ、この商社は原石が売れないので購入を延期しがちだった。
- ⑤ 昨年の雨季後、期限が切れた許可証はすぐに更新できるはずだったが、環境保全関連の問題でなかなか許可が下りず、今年2月頃まで引っ張った。
- ⑥ 採掘停止中、職人は一時解雇。採掘許可が下りたのは雨季の少し前で採掘できる期間が短く、採掘コストと生産可能な売上額を比較して、割に合わないという判断で雨期明けまで再開しないことを決定。

結果、昨年の3～4月ごろから1年以上原石の供給が止まり、現在に至るまで予想外の出来事も重なり在庫が切れた。

この状況です。もしこの独占契約にほかの原石商社がここぞと横槍を入れたとしましょう。でも現在は需要が供給を圧倒的に上回る状況です。おそらく今までと同じ値段で購入というわけにはいかないでしょう。

それでも踏み込んでいく商社がいるか、それとも契約が元の鞘に収まるか。どちらにせよ少々お時間をいただく話になりそうです。

この間、M-13は弊社にお任せ下さい。お客様にとっても他の石材店さんが用意できない石を用意できるという強みを発揮することができます。

他店にない石を用意できる！というなかなかないチャンスです。是非是非、ご検討ください。

下記も併せてご検討ください。



M-20という石です。中国産ですが・・・

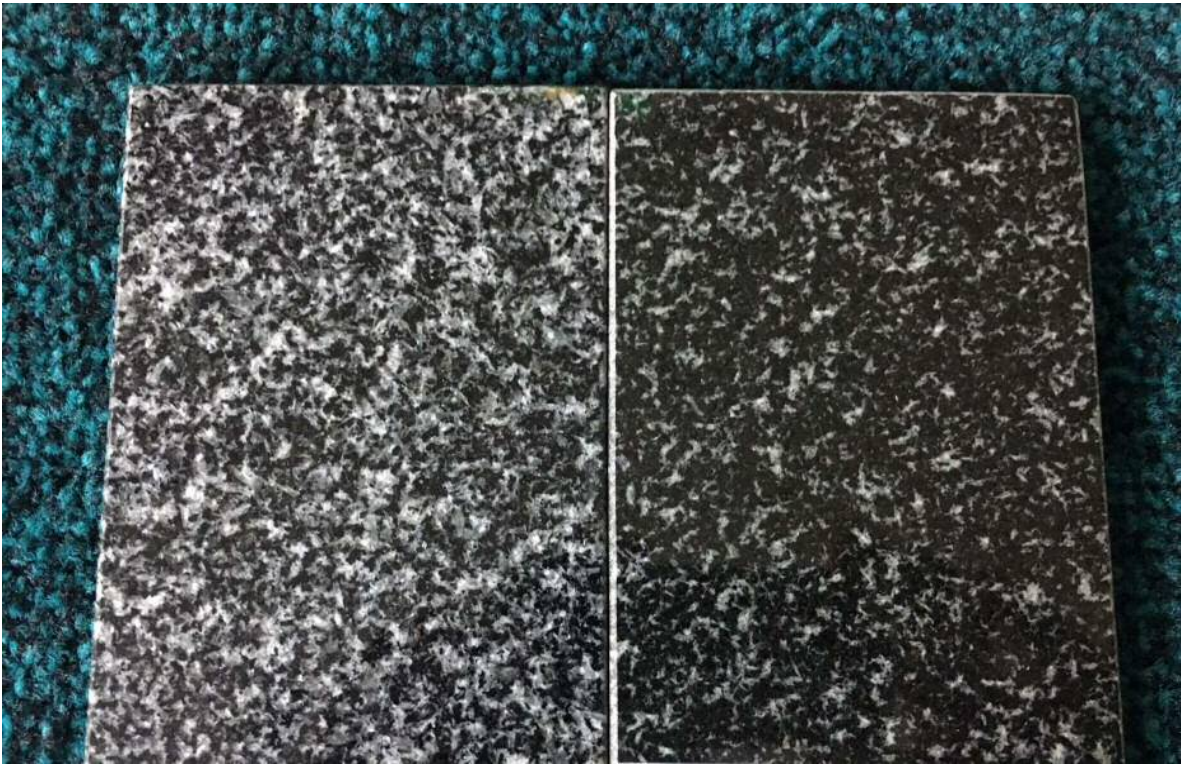
こちらは硬度の面でM-13に及ばないものの、目が比較的整っており、価格もM-13より少々お安くできそうです。

こちらもお墓で映える石です。ご予算がという場合は、是非ご検討を。

と、文章を締めようとしたところインド担当のサトーより、代替石種を勧めるなら**オシも一枚かませてください**~という依頼が入りましたので、以下インド材のご提案です。

M-13が一時的にはありますが、供給ストップしたことで、

M-18の新丁場の石が中国各工場に注目されています。



右の石がそうです。工場によって異なる名前と呼ばれていますが（HKG、M-11等）製品、原石共に安定供給可能です。目合いはM-13に近いと言えますが、**色は黒緑系で艶ノリが非常に良好です。**また、ムラやキズなどの問題も少なく、値段的にもM-13と大きな差はありません。M-13の代替品としてでなくとも、ポテンシャルの高い石として人気が出るのではないかと考えています。

上記の代替え2石種共にサンプルのご用命あれば弊社担当営業員までお問い合わせ下さい！

いつもの**ゆる〜い**お話から、めずらしくまじめにバイヤーっぽいお話をさせていただきましたがいかがでしたでしょうか。

では、また7月1日にお会いしましょう。再見！

2016年6月8日 服部